

(株) えふえむ草津 第54回 番組審議会議事録

1. 開催年月日 令和元年5月23日(木) 18時30分～19時30分

2. 開催場所 木波屋雑穀堂

3. 委員の出欠 委員総数 6名 出席委員 5名

(出席委員) 岡本直輝 奥谷美津子
辻 信一 松田泰子 森 健蔵

(欠席委員) 岩佐卓實

(放送事業者側出席者) 青木 均(代表取締役)
山本正雄(事務局)

4. 議 題

- (1) 近況報告
- (2) 番組“声の広報(5月1日号)”について
- (3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項
- (4) 訂正または取消し放送の実施状況
- (5) その他

5. 議事の概要



(1) 近況報告

(放送事業者)

3月21日の春分の日に、放送局前で開局10周年記念イベントを開催。

朝方までの雨の影響で一部プログラムを変更したが、イベント自体は雨に降られることなく、多くのリスナーや通りかかった市民の皆さんや近所のお子さんが立ち寄ってくださり、成功裏に事業を終えることができた。

今後も、放送局前の広場を使って、この地域の活性化に繋がる取り組みを、まちづくり会社さんや観光ボランティアガイド協会さん、本陣商店街の皆さんと一緒に展開していく所存である。

また、4月には大幅な番組改編を行った。

新たに加わった番組ラインナップは、毎月第2・第4火曜日の午後7時30分から「ぐるっとまち歩き～草津道中～」を観光ボランティアガイド協会さんのご協力で放送を開始すると共に、毎月第3金曜日のお昼12時から「あすくる草津～中谷所長の「ちょっとe-talk」～」を、また毎月第4金曜日のお昼12時から「スマートウェルネスくさつ～めざせ健幸都市～」を始めた。

来月以降になるが、「(仮称)ラジオ de 俳句 ～俳句を嗜みませんか?～」といった俳句の番組や「(仮称)意外と知らない草津の歴史」といった歴史番組を放送して、今一度、自分の住む地域を見つめ直していただけるような取り組みを始める予定である。

同時に、公共公益情報の提供コーナーの充実に努めている。

例えば、毎月第2・第4金曜日の「モーニングロケッツ」では西消防署と南消防署の職員さんに出演いただくコーナーを、また第4火曜日の「モーニングロケッツ」では血液センターの職員さんに出演いただくコーナーを設けた。

今後はこういった形で、草津警察署や草津税務署さんとも情報発信を一緒にやっていると協議を進めている。

更に、5月の連休明けには特別番組として、5月7日(火)から5月9日(木)にかけて、先の滋賀県議会議員一般選挙の草津市選挙区で当選された県議会議員をお招きし、抱負や県政の課題、今後の活動などについてお聞きする番組を放送した。

最後に、今後の予定ですが、来月の14日(金)には、厳しい経営状況となっている株式会社えふえむ草津の株主総会を開催する予定である。

市が緊急時に防災ラジオとしての役割をコミュニティFM放送に期待するのなら、平常時にもラジオを聞いてもらえるよう番組の充実に取り組んでいることに対して、西宮市のような公共公益に果たしている役割に見合った放送料等協力をお願いしてまいりたい。

(A委員)

当方で、来る9月にえふえむ草津スタジオのある「くさつ夢本陣」を使ってイベントを計画している。えふえむ草津も当時は生放送するなど積極的に協力いただけるようなので、観光ボランティアガイド協会などの団体の含めて皆さんで盛り上げていきたい。

(放送事業者)

俳句関連の番組を計画しているので、それも兼ねてイベント当日に句会などもできれば良いと思う。

(B委員)

以前にも句会をしたいとの問い合わせがあり、句会には適している場所だ。

また、4月より「ぐるっとまち歩き～草津道中～」を放送しているが、是非多くの方に聞いて欲しい。

(C委員)

草津市の住民であっても、まだまだ草津について知らないことが多いので役に立つ。

また、4月から以前と違って色々な番組を作っているので良い感じになってきているなあと思っている。

新しい番組では、聞きやすさや表現力の向上が求められる。パーソナリティやスタッフがもう少し実力を上げて行ってくれたら良い。

(放送事業者)

パーソナリティの基礎を鍛えていただくために、アナウンス講座を開催している。ここから新たな人材が育っていただくと裾野が広がるので、更に良い番組が作れるのではないかと考えている。

番組審議会では、次の一手になるような番組づくりに大変参考になる意見をいただけるので喜んでいる。

(C委員)

意見を出すだけで終わるのではなく、それを踏まえて番組に取り入れていただいている。チャレンジすることが大切であり、全体として良い方向に向いていると思う。

(D委員)

今の大学生は歴史を知らない学生が多く、東海道、中山道といっても興味を示さない。

例えば、高槻のジャズフェスは小学校を使って大規模に行っており、隣の茨木でも開催し若い人も含めて多くの方が来場している。

そういう面でいうと、歴史だけに留まらず新しいものを作り上げていくことも必要では無いだろうか。

(E委員)

草津市には、「niwa+ (ニワタス)」や「de 愛ひろば」など新しいスポットも出来ているし、ハートでつながる草津のハッピースポットや商店街の先には立木神社もありデートスポットとしても良い。インスタ映えも含めて上手く活用できればと思う。

(C委員)

京都宇治の正寿院にハート型の窓があったり天井にカラフルな絵が描かれていて全国から来場者が後を絶たない。そういうふうに応用するような広報戦略が必要。

(放送事業者)

6月に新しい番組表を作成し配布する予定である。

情報番組の内容や防災ラジオとしての役割を分かりやすく記載すると共に、これを元に営業活動に回りたい。

(2) 番組“声の広報(5月1日号)”について

放送の冒頭部分を聴取した後、審議に入った。

(放送事業者)

この番組は、毎月第1金曜日の正午から放送している。

従来は、草津市が作成したカセットテープを視覚に障害がある方々へ配布されていたが、今年3月よりCD化とラジオ放送でも行っている。

(C委員)

今までは、広報誌を読んでいただけだったが、トークも入って聞きやすく、また分かりやすくなった。目の不自由な方は、声に大変敏感なので従来は極力感情を入れないようにとのことだったが、より多くの人に聞いていただくために工夫されている。

(放送事業者)

第一回目の「ぐるっとまちあるき～草津道中～」も出演いただいた方の話し方が良かったので大変分かりやすかった。

(B委員)

草津宿本陣の田中文子さんは、案内の時に必ず笑いを取って楽しく説明されていたので大変好評だった。

(C委員)

笑いを入れることは大切。

楽しく話すとか、楽しく学ぶという姿勢が必要であり、放送でもこうしたことを取り入れていただきたい。

(放送事業者)

今後も楽しく、聞いている人に内容が伝わり分かりやすい番組づくりに努める。

(3) 前回審議会における改善意見等に対する措置事項

別紙のとおり

(4) 訂正または取消し放送の実施状況

特に無し

【議事録の公表方法】

- ①当社玄関カウンターに設置（6月7日～）
- ②当社ホームページへの掲載（6月7日～）
- ③番組「草津レポート」（6月14日12時～）の中で番組審議会の内容を放送

前回開催の番組審議会での改善意見、質問に対する措置事項

平成31年3月7日（木）午前9時00分から放送いたしました“モーニングロケッツ785”の2時間番組を15分間に編集し直したものを聴取いただいた後、番組内容を審議していただきました。

番組内容を受けての質疑応答

(D 委員)

メールアドレスや電話番号を案内する際、もう少しゆっくりしたスピードで案内した方が良いのではないかと。また、開催時間や場所などの情報は、2度繰り返した方が分かりやすいのではないかと。

また、クイズ回答者へのプレゼントはあるのか？

(事業者)

クイズ正解者への景品は用意していないので、今後検討していきたい。

(A 委員)

時間枠によって最適な話のスピードは違うのだが、朝の番組なので全体としてはこの程度のスピード感があっても良い。電話番号などは、ゆっくりと紹介した方が良い。

(D 委員)

CM部分について、誰の声なのか？

(事業者)

開局10周年記念の案内は、菅野ららさんがお婆さんに扮している声と愛民さんの2パターンで作成している。

(A 委員)

ラジオでは、テレビのように映像が無いのでイメージすることが難しい。

例えば、マッチ君のキャラクターの声を募集してCMを流しても良いのではないかと。また、通常放送との違いを明確にするために、音楽などの音源を効果的に使って15秒程度に短くすることも必要。

(事業者)

CMが意識してもらえるよう種々検討していきたい。

(C 委員)

CM料金はいくらか？

(事業者)

お試しは無料だが、10周年特別価格として30秒CMを10回で15,000円をお願いしている。

(A 委員)

制作料も必要ですので、すごく安いと思う。高くすると集まらないので、この程度だとCMを出してくれる事業所は多いだろう。

(E 委員)

テレビではCMの音量が上がるように思うが、ラジオの場合はどうか？

(事業者)

テレビのように音量を上げていない。なお、CM部分は、放送中のアンタイムで音楽の後などに挿入しているので番組との区別はできている。

(F 委員)

4月改編の番組表について、パーソナリティの名前が記載されているが、放送内容が分からないのではないかと聞きたいと思うが、分からないと聴くきっかけが無い。

(事業者)

番組一覧表では書ききれないため、ホームページで詳しく記載する予定。
番組表を新たに作成する際には、工夫していきたい。

※ 本支配布番組表(案)を参照していただきたい。

その他の質疑応答

(E 委員)

事務所でラジオを付けるようにしており、当初は地域の情報を得るためにえふえむ草津の番組を流していたが、古い曲や昭和歌謡ばかり流れるので「聴くのが辛い」との意見が職員から出た。

演歌が流れると仕事の雰囲気に対応しくないため他局の番組に切り替えた。

えふえむ草津は当初、新しい曲が多かったと思うが、何時頃から年配向けにシフトしたのか？

(事業者)

おっしゃるとおりの状況であったことから、今回抜本的に番組表を見直した。

新しい曲を流したり事務所や店舗、公共施設などでBGMとして対応しい内容となるよう、全国のコミュニティFM放送局に向け番組配信しているミュージックバードを導入した。

高齢者向けには、朝の早い時間に昭和ロマン歌謡曲などが流れるので、この時間に聞いていただきたく思っている。

これまではご指摘どおり、SPレコード時代の歌謡曲や昭和演歌が14時からの時間帯に流れていたが、3月より逐次「ミュージックバード」の配信番組に切り替えている。

(E 委員)

今の時代の新しい曲は流れるのか？

(事業者)

著名なパーソナリティの番組もあり、新しい曲も多く流れるようになる。

(B 委員)

当初は30歳代の女性をターゲットにして演歌を絶対に入れないという方針だったようだが、市役所に幅広い年代層を対象とするよう苦情もあった。

ターゲットの対象をどのようにするかは難しいが、高齢者の演歌のファンもいるのではないかと聞きたい。

(事業者)

午後2時の昭和演歌のコーナーが無くなったので苦情が来るかもしれないが、BGMとして対応しい音楽が流れるようになるので理解を得るようにしていきたい。なお、他局の多くは、早朝の時間に演歌を流すようにされているようだ。

午後2時台に昭和演歌を流すと、店舗などでは聞いていただけない。

(C 委員)

番組はどんどん変えて行けば良いので、色々やってみてはどうか。

(事業者)

3ヶ月にごとに見直していくことも考えている。

(C 委員)

前回もお願いしたが、小学生・中学生もえふえむ草津に親しんでくれるような企画も検討願いたい。ICTの改革が進んできたが、プログラムを作ることだけがICT教育では無い。

(事業者)

アナウンススクールの開催を予定しており、こども放送局も含めて条件を整えて展開することを検討中である。

教育委員会の事務局に申し入れても難しいので、学校単位で取り組んでいただけるよう、今後調整していきたい。